

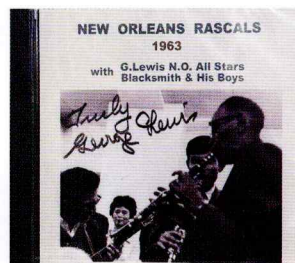
ニューオーリンズ・ラスカルズ (NOR) レーベルでの大変貴重なCDのご紹介!

ドラマー 木村 陽一

今は亡き、河合良一氏の製作したCDの中で、燦然と輝いているのが1963年9月2日のアメリカ文化センターと、10月14日の御堂会館でのODJC主催のニューオーリンズ・ラスカルズ2周年コンサートを収録した「NOR-CD101」であると確信を持っています。

幸いなことにこのCDは奥様の河合美枝子さまによると、マホガニーホールの倉庫に充分な在庫が有るとのこと。

(送料込 ¥2,000 申込先：ODJC事務局→下記参照)



その内訳は…

1. 初来日したジョージ・ルイス率いるニューオーリンズオールスターズの面々とニューオーリンズ・ラスカルズとの貴重なジャムセッション(ジョージ・ルイスは河合良一さんのE♭クラリネットを吹いた)
2. やはり初来日のピアノのボブ・グリーンの参加(故ケネディ大統領のスピーチライターとしてペンタゴン勤務の後、ジェリー・ロール・モートンスタイル継承のピアニストとして、ジョージ・ルイスオールスターズの日本公演を聴きに來ていた)
3. 東京でトロンボーンの森 徹 氏のディキシーバンドでプロとして活躍し、京都の実家の鍛冶屋稼業を継ぐために1961年から帰省していたコルネットの西代宗良氏が率いたブラックスミス&ヒズボーイズのビックス・バイダーベックスタイルで完成されたバンドサウンドで本セッションに参画(1965年頃解散)。
4. 前年関西学院大学を卒業し、ニューオーリンズ・ラスカルズのトロンボーンとして参加していた福田恒民がブラックスミスのトロンボーンとしても名人級のプレイを披露したセッション。
5. 当時関西学院大学を卒業したばかりで、ブラックスミスに参加していたクラリネットの福屋菊雄氏(後にNHKプロデューサーとして「紅白歌合戦」を担当)の河合良一氏をも感動させた華麗なプレイ。
6. ニューオーリンズスタイルのドラマーとして初来日したジョー・ワトキンスのドラミングを初めて目の当たりにして聴いた私(木村陽一)が、レコード音のみから叩き方を推測で演奏していた奏法は基本的に間違いなかったことを発見したことが大きな喜びでした。

※蛇足ですが本CDのドラム演奏はジョー・ワトキンスが2曲のみでそれ以外はすべて木村が叩いています。

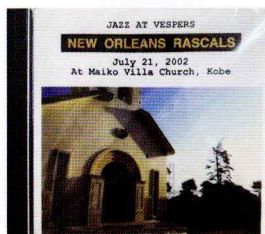
関西のトラッドジャズとその歴史を愛する方々に絶対聴いておいて戴きたい名盤であること間違いありません。また、下記のCDもお勧めで、在庫も少しですがまだ有ります。

★ 河合良一 賛美歌集 ★ 各 ¥2,000 (送料込)

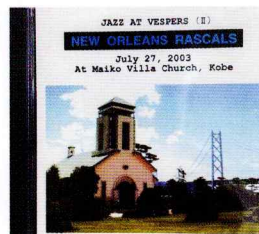
詳細はODJCホームページで
ご覧下さい。



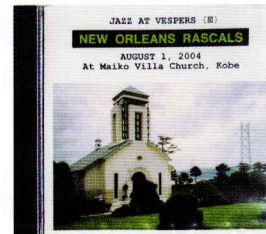
NOR-CD014



NOR-CD103



NOR-CD106



NOR-CD51

お申し込みは：ODJC事務局 クチバ

電話 (06) 6911-2531

FAX (06) 6912-0851

E-mail: odjc-kuchiba@mercury.sannet.ne.jp

odjc

http://www.odjc.com